

うちどく おすすめ絵本リスト

2024.3～2025.2

中学生版

この一年で図書館司書が毎月紹介した
絵本をリストにまとめました。



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、
その本について話し合うことです。
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！

●うちどくをはじめるなら、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても
様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。



現在購入できる版の出版年を掲載しています。
価格は2025年2月現在の本体価格です。

掲載については出版社の許諾を得ています。
無断で転載することを禁じます。

2025年3月発行
大洲市立図書館



11月



**「いたいっ!」が
うんだ大発明**
パリー・ウィッテンシュタイン/文
クリス・スー/絵
こだま ともこ/訳
光村教育図書
2018年 ¥1400

1917年、アールさんは大好きなジョゼ
フィンさんと結婚しました。不器用な
ジョゼフィンさんは、料理をすると包丁
や熱い鍋でケガをしてばかり。それを見た
アールさんは、傷だらけの手を何とかして
あげようと考え、あることを思いつきま
す。誰でも簡単に手当てができる、救急
ばんそうこう誕生の物語。

12月



**かんぱんのない
コーヒーや**
かめおか あきこ/作
ほるぷ出版
2024年 ¥1600

香りに誘われて入った店のコーヒーに
感激したオオカミくん。くまのマスターに
弟子入りを断られても、美味しいコーヒ
ーを淹れるため何度も挑戦をします。知識
や技術を自分のものにするためには、た
だ教わるのではなく、失敗しても工夫を重ね
て自身で答えを見つけることが大切だと、
マスターの姿勢から学んでいたことに気
がつくのです。

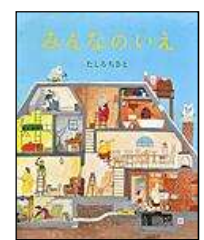
1月



**まるごと
うちゅうカレー**
チョー ヒカル/作・絵
PHP研究所
2023年 ¥1500

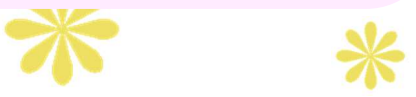
カレーの材料は、なんと惑星！海王星
をきざんだり、土星や火星を煮込んだ
り…。手際よく料理を作っていくと、素材
の味を生かした(?)まるごと宇宙カレー
のできあがり。意外にもちょっとおいし
そう。地球や月を料理していく過程が、想像
の斜め上！ペイントアーティストとして有
名な作者の世界観を楽しんでください。

2月



みんなのいえ
たしろ ちさと/著
文溪堂
2023年 ¥1500

まち外れのボロボロな家に、旅人が
やってきます。季節が進むにつれ増えて
いく旅人たちは、壁のひび割れをふさぎ、
光が入らなければ窓を作り、水が必要なら
井戸を掘り、みんなで協力して楽しそう
に家を直していきます。みんなの希望を
かなえるたびに、暮らしやすくなり、世界
でひとつの家になっていく様子がとても
素敵です。





3月

イオマンテ

寮 美千子/文
小林 敏也/画
ロクリン社
2018年 ¥2200

アイヌ(人間)の男の子の父親が子熊を連れて帰ってきました。男の子と子熊は一緒に育ち、やがて大きくなった子熊をカムイ(神)の国へ送る日がきます。アイヌ民族の儀式イオマンテ(熊送り)を描いた絵本です。巡る命の物語、一度読んでみてください。コタンやオハウなど、いろいろなアイヌ語もできます。



4月

オサム

谷川 俊太郎/文
あべ 弘士/絵
童話屋
2021年 ¥1800

表紙に一頭のゴリラが描かれています。ゴリラのお話というわけではありません。谷川俊太郎氏の詩「ぼくのゆめ」から生まれた絵本です。作者の思う“いいひと”が描かれています。威張らず、祖先や恩師を大切に、子どもや周囲にやさしく、誠実に生きていきたいですか。



7月

くらやみきんしの国

エミリー・ハワース=ブース/さく
おおつか のりこ/やく
あかね書房
2020年 ¥1600

暗闇が怖い王子様は、王様になったら暗闇を排除すると決めます。暗闇についての悪い噂を流して、国民が自分たちで暗闇禁止を決めたと思い込ませたのです。明るさに疲れてきた国民がある計画を立てる一方、王様は暗闇禁止をお祝いした花火を上げようとしますが…？ユーモラスながらちょっとゾツとする、考えさせられる物語です。



8月

マグナス・マクシマス、なんでもはかります

キャスリーン・T.ペリー/文
S.D.シンドラー/絵
福本 友美子/訳
光村教育図書
2010年 ¥1400

はかることが大好きなおじいさん、マグナス・マクシマス。鼻にめがねをちょこんとつけて、細かく正確にあらゆるものはかります。ところがある日、めがねが壊れたことではかることができなくなって…。好きなことに熱中するのはとても良いこと。でも時にはゆっくり休み、気分転換をすることで、より豊かになることを教えてくれる絵本。

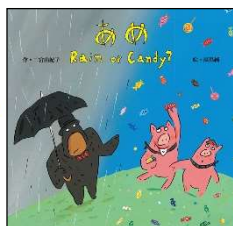


5月

めぐりめぐる

ジーニー・ベイカー/作
わだ すなお/訳
ポリフォニープレス
2021年 ¥1700

この物語の主人公は、オオソリハシギ。最も長くノンストップ飛行を行う渡り鳥です。作者が10年かけて取材を行い、美しいコラージュで描いた絵本。オオソリハシギの旅にとって重要な湿地帯は、急速な開発の影響で、現在も減り続けています。地球は人間だけのものではないということを、改めて考えさせられます。



6月

あめ

Rain or Candy?

二宮 由紀子/作
高島 純/絵
理論社
2023年 ¥1500

「やっ、あめがふってきたぞ！」同じフレーズだけど、クマには雨が、ブタには飴が降ってきた！洋館と羊羹、二時と虹など、同音異義語を使ったまったく違うストーリーが、クマ側とブタ側でそれぞれ展開します。添えられている英語の表現を見比べるのもおもしろいですよ。言葉の豊かさや味わい深さを体感できる一冊です。

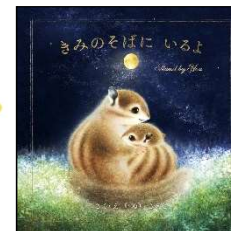


9月

ぼく、いいたいことがあるの

ジャン=フランソワ・セネシャル/文
岡田 千晶/絵
小川 仁央/やく
評論社
2023年 ¥1600

きつねの男の子が、大好きなおばあちゃんに手紙を書こうとしています。でも、もう会えないのです。二人で行った場所、いっしょに作ったもの、思い出がいっぱいあるのに…。流れる川のように過ぎていく時間の中で、やっと言えた「さようなら」。大切な人と別れる気持ちに寄り添うように、温かく描かれている絵本です。



10月

きみのそばにいるよ

いぬい さえこ/さく・え
パインターナショナル
2023年 ¥1400

夜の森で、動物たちがおしゃべりしています。それは、少し気持ちが楽になる言葉たち。「ムダじゃないよ。そこをとったから、ここにこれたんだ。」…。なんだかとても疲れた時、もやもやする時に読むと、響く言葉があるのではと思います。夜の森や動物たちと満ち欠けていく月が描かれた柔らかい絵にも、心が落ち着く絵本です。